

# 四季彩便り

2014・初夏

発行人  
光が丘4-11-2 漢方四季彩堂  
酒見 裕子  
(092)927-2693

## 変化



季節は春から夏へと移りつつあります。

ことのほか厳しい暑さに見舞われた去年の夏。そこから一足飛びに冬の到来と、地球規模で気候変動が起こっていることを思い知らされました。そして今年もすでに日中、夏日を記録しました。

さて、春は万物が動き始める季節。柔らかな日差しと春風にくすぐられて木々の芽はほぐれ、地中で春を待っていた虫たちや種子たちも目覚め、活動を始めました。

私たちヒトの社会でも春は変化の季節です。すね。



当店も変化の時を迎えました。

サニー光が丘店のテナントとして十七年余りの間ほぼ年中無休で営業して参りましたが、この度店舗を移転致しました。

移転先は道路を挟んだ向かい側です。

これまでご来店・ご愛顧頂きましたことを心より厚くお礼申しあげますとともに、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 四季の話題

### 驚くべき効き目

二歳の孫がノロウイルス感染症にかかり、点滴治療のため三日間通院しました。

その二日後の明け方、私も嘔吐と激しい下痢に襲われました。

一時間に三〜四回トイレに駆け込む始末。

夕方までのおよそ十二時間余り、何もできず、ひたすら寢床とトイレの往復を繰り返しました。

夕方になってようやく何とか車を運転して店に出ましたが、体が宙に浮いた感じで、とても自分を保つておくことができません。

まるで回転が止まる寸前の独楽のようなふら状態です。

やむを得ず従業員にあとを頼んで自宅で休ませてもらったことにしました。

そのとき、気力を増して脱水症状の防止に

役立つ漢方薬「はくみさんかりゅう麦味参顆粒」を一回分

お湯に溶かして飲みました。

するとどうでしょう！

十分も経たないうちにせいかたんでん臍下丹田(下腹)に

ぐっと力がみなぎるのを感じ、この調子なら

普通に動けると思いました。

折しも転居のための荷造りの最中で、書類を詰め込んだ段ボール箱を三十個ほど動かすことができました。

この出来事は漢方薬の効き目のすごさを改めて体感させてくれました。



## 折々の薬草

### ハハコグサ



早春の畦道を歩くと、白く綿毛をまとったいかにも柔らかそうな葉を目にします。季節が進むと花茎がのび、先端にやさしい黄色の集合花をつけます。

有史以前に渡来したと考えられているこの草は、古くから草餅の材料として利用されてきました。

平安時代前期の史記『文徳天皇実録』にはすでに「母子草」の名がみえます。

ハハコグサを搗きこんだ餅はヨモギ餅とは比較にならないほど粘りが強いのですが、香りではヨモギが勝り、今ではすっかりヨモギに取って代わられました。

草餅だけでなく、若い茎葉や花は天ぷらにして食べることもできます。

漢名の鼠麴草(ソククソウ)は綿毛に覆われた葉の形を鼠の耳に、黄色いもこもこした花を麴に見立てた名前です。日本各地の呼び名は分かっているだけでも百二十以上あり、それほど人々の暮らしに馴染み深い野草だったことがうかがえます。

花期の全草を乾燥させ煎じて飲めば咳を鎮め痰を除く働きがあり、皮膚のできものには新鮮な全草を飯粒と一緒にについて患部に塗布します。

古人は道端の見慣れた草を有効に利用しながら自然と共存していたのですね。



花の里こころもしらす春のにはらはらつめるははこちいそ

和泉式部